

漁海況情報

平成 26 年 8 月 8 日 第 10 号 (通巻 547 号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎 2861-3

TEL : 0837-26-0711 FAX : 0837-26-1042 Mail : a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

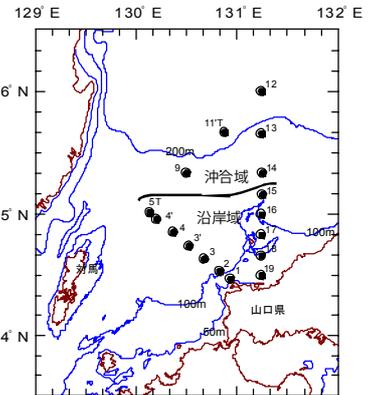
【海鳴りネットワーク】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

【くろしおによる海洋観測】

8月6日～7日に漁業調査船「くろしお」で海洋観測を実施しました。

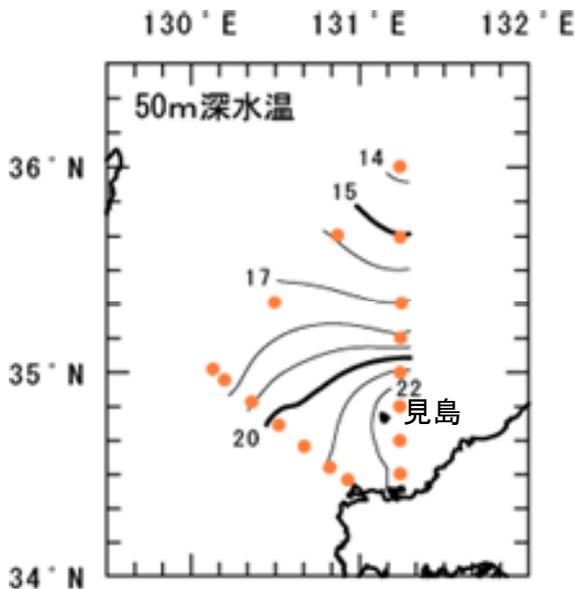
前月は、表層水温が高め傾向でしたが、今月は沿岸域、沖合域ともに平年並みとなりました。50m, 100mの水温は、前月に引き続き沖合の冷水の勢力がやや弱いいため、沖合域で「平年並み」、沿岸域でも「平年並み」でした。

ここで平年とは30年間(1981～2010年)の平均値のことです。



海洋観測点

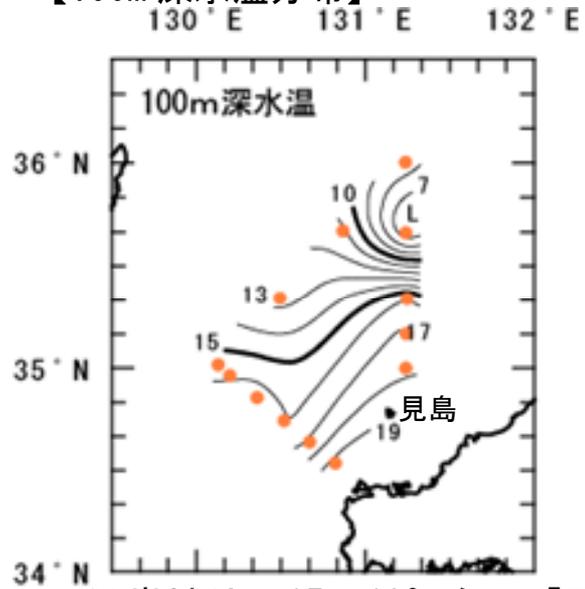
【50m 深水温分布】



沿岸域は、前月より約 1～2℃ 昇温し 17～22℃ 台で「平年並み」でした。見島周辺では 21～22℃ 台でした。

沖合域は 13～17℃ 台で「平年並み」でした。

【100m 深水温分布】

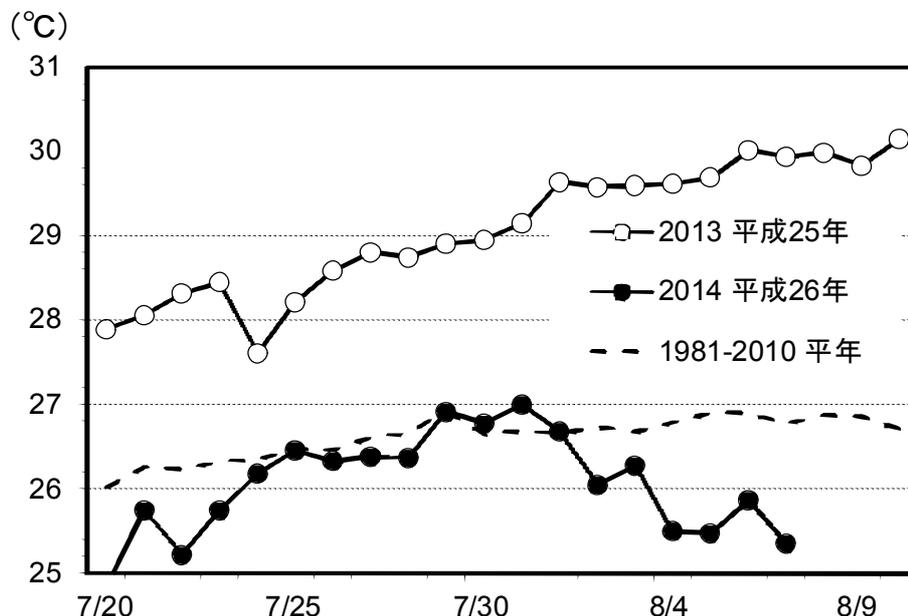


沿岸域は、15～19℃ 台で「平年並み」でした。見島周辺では 18～19℃ 台でした。

冷水域の勢力は前月と同程度で、沖合域では 6～15℃ 台で「平年並み」でした。

【萩-見島フェリー観測の表層水温】

萩沖の表層水温は、荒天が影響し昇温が停滞しています。7月25日～8月1日の期間は、平年値前後で推移しましたが、8月2日以降は、平年より低めとなっています。8月8日の値は25.4℃で、平年より1.3℃低め（前年より3.5℃低め）となっています。



【平成26年度第2回日本海海況予報】

日本海区水産研究所（7/7 発表）によると、日本海西部の海況の見通し（～9月）は以下のとおりです。

島根沖の冷水の張り出し：平年並み
対馬暖流域の表面水温：かなり高め
日本海西部の50m深水温：平年並み

*一部抜粋

【他県の情報】

長崎県 — 7/31～8/6 の漁模様 —

<中小型まき網> 台風の影響で出漁少ない

西彼地区：マサバを1日1統当り7トンの水揚げで前週並（前年並）。

<イカ釣り>

対馬東岸地区：1日1統当り64kgの水揚げで前週の1.5倍（前年並）。

壱岐勝本地区：1日当り5.1トンの水揚げで前週の1.9倍（前年上回る）。

*長崎県漁海況週報第2853号から抜粋